

## 基本施策 A 3 交流のための都市機能を高め、交流を促進し、賑わいを創出 します

主管課：観光政策課

### 個別施策

- A3-1 長崎独自の観光資源を掘り起こし、磨きます
- A3-2 国内外からの観光客、M I C E の誘致を図ります
- A3-3 交流のための都市機能を高め、受入態勢の整備とおもてなしの充実を図ります
- A3-4 游学のまち長崎の魅力を高めます

### ア 施策の目的

まちが、より多くの来訪者や市民で賑わっている。

### イ 基本施策の評価

A c 目標を達成しているものの、目的達成に向けた課題の克服などがやや遅れている

### ウ 成果指標（「↑」は目標値を上回ることが望ましい指標、「↓」は目標値を下回ることが望ましい指標）

指標名	基準値 (時期)	区分	H28	H29	H30	R1	R2	
観光客数[暦年]	630.7 万人 (26 年)	↑	目標値	670.0	675.0	690.0	695.0	710.0
			実績値	672.4	707.8	705.5		
			達成率	100.4%	104.9%	102.2%		
観光消費額[暦年]	1,243 億円 (26 年)	↑	目標値	1,360	1,400	1,480	1,530	1,600
			実績値	1,314	1,458	1,496		
			達成率	96.6%	104.1%	101.1%		

### エ 評価結果の妥当性

本部会での議論を踏まえて考えると、評価結果については妥当であると判断する。

### オ 審議会における政策評価に対する意見

なし

### カ 審議会における施策推進に向けた提言

- ランタンフェスティバルなどイベント時の交通渋滞が問題であると思うが、周辺部の民間との連携、パークアンドライドの効率的活用、中心部商店街との連携などソフトの事業による渋滞緩和の取組みが必要ではないか。
- ランタンフェスティバル期間中にランタンが点灯している 18 時以降のさるくのコース設定がない。試験的に週末だけの実施から行うなど、観光客の立場になって改善していく必要があるのではないか。

- さるくガイドについては、高齢化が進んでおり、若い世代の育成が必要である。
- 観光コースのベースとなっている施設が、100年前からあまり変わらない。MICEとの連携を行いながら、観光客や外国人のニーズを把握しコースを再検討するとともに、合併地区にある素材を活かし、体験型の観光コンテンツを活かす必要がある。
- さるくガイドの資格取得の研修に純心大学の学生が参加し、ガイドとして育成ができたとのことであるが、是非コンベンション協会と連携し、現場のガイドとしても活躍できるよう取り組んでほしい。
- 長崎の夜景の魅力は、様々な視点場から角度を変えて見ることで多様な美しさがあることであると思う。夜景の周遊コースをつくり、様々な場所からの夜景をPRしてほしい。
- 川原大池には、全国から多くの野鳥愛好家が写真を撮影に訪れる場所となっている。このように周辺地域の自然環境を活用し、期間限定でもいいので、目的を特化したさるくコースの掘り起しも必要ではないか。
- イベント時に駐車場の満空が明確でなく駐車場を探している車両が多いことが、渋滞が発生している一つの要因である。他都市も参考にアプリの活用などソフト面の充実により対応ができないか検討する必要がある。

キ 次期総合計画の策定に向けた意見

なし